

418)	(258)	(1,424)	(1,357)	(1,357)
830	692	2,942	1,058	4,000
963)	(1,520)	(3,833)	(833)	(4,666)

グメント損益

販売量は3万4千ト。価格は、4月3万5千円から7月3万500円まで下げ続けたが、8月から反転上昇して12月には2年7カ月ぶりの4万円に乗せられた。

また、電気料金は昨年4月から関西電力が値上げし、円安に伴う燃料費調整制度での値上がりも加わって、電炉各社の同コストは製品1ト当たり3千円以上になったもようだ。各社はコスト低減努力を強化しているが、コスト高に対して製品価格の上昇が遅れている。

# 一ル成形機導入 製缶加工を強化



4本ロールで端曲げが不要

本社の近隣に移動させ、横持配送の低減と連携を緊密化することで製缶加工の強化を図っていく。

ロール成形機の投資額は約1500万円。同社は一

## 各地の話題—北から南から



神戸 陸史氏  
(ハウゼサンエイ社長)

屋根壁役物の成形加工メーカー、ハウゼサンエイ(本社・大阪市中央区)は1~3月の期間、全国6都市で計9回の「ハウゼコ技術セミナー」を開催中。テーマは「木造住宅の建物外皮の劣化事例と解

## 技術セミナー開催中

決策」。神戸陸史ハウゼサン系、ALC(軽量気泡コンクリート)などでは標準施工が

あるが、モルタル外壁には、

「当社はこのほど、モルタル用シリーズの新製品『モルタルの劣化』などで、原因と解決策をお話ししている。皆さ

ん、本心に熱心」と話す。セ

大阪で1回の開催を予定。評。足元の需要は旺盛だが、

アルカリ腐食、もろい錆、電気掛かりだ」

食など。湿式外壁の土台水切

は、2001年住宅金融公庫のキックベースボールのコー

(現住宅金融支援機構)の仕

様書の改定で、水切の取り付

けが推奨された。このため土

台水切は急速に普及してい

る。金属サイディング、窯業

笑顔。

コスト低減を図った。5~9ミ、幅が最大1

今回、本社近くの第500ミまで。なお今

3工場に新設したのは、アイセル社製の4

回は国の補助金(平成24年度ものづくり中小

## 協流鉄阪

### 12月の棒鋼流通調査

# 鉄筋棒鋼は在庫減

なり2カ月ぶりに増えた。

構造用丸棒は、仕入れが同2%減り、販売

が同1.2%増の微増となったため、月末在

庫は同8.9%減と4

カ月連続で減少してい

る。

角鋼は、販売が同18

%減と2割近く減った

が、仕入れも同27.7

%減と大幅に減ったた

め、月末在庫は同3.6

%減と4カ月ぶりに

減少した。

詳細は別表の通り。

12月ステンレス流通アンケート

在庫横ばい傾向

大ス協薄板分科会

大阪ステンレス流通協会薄板分科会は、12月の売り上げ、在庫などに

調査をまとめた。今回は10社が回答。売り上げは、前月比で

は「増加」「横ばい」がそれぞれ4社、「減少」が3社とほぼ三分された。一方、前年同月比では「増加」5社、「横ばい」4社と